

# 高校生らによる 総合格闘技大会 MMA甲子園フェザー級

## 名久井さん(パラエストラ)初出場準V

八戸

2月に行われた高校生らによる総合格闘技(MMA)の全国大会「第5回MMA甲子園」のフェザー級で、八戸市の格闘技ジム「パラエストラ八戸」の名久井悠

さん(18)が初出場ながら準優勝を飾った。最初で最後となった大舞台でも臆せず挑戦し「優勝できなかったのは悔しいが、大会はともワクワクした。これからも競技を続けていきたい」と意欲を示している。

大会は大阪府内で開催され、名久井さんは八戸学院光星高3年時に東北地区代表として出場。高校時代はレスリング部に所属していたが、中学1年の冬から総合格闘技とキックボクシングの技術も磨いてきた。



MMA甲子園で準優勝した名久井悠さん

### 「これからも競技続けたい」

トーナメント制のフェザー級(65・8ポンド以下)には5人がエントリーした。名久井さんは1回戦(1ラウンド4分)を判定3-0で勝利。得意のタックルで相手を倒し、終始試合をコントロールした。準決勝は相手の棄権で勝ち進んだ。迎えた決勝(3分2ラウンド)の相手は、総合格闘技の経験豊富な強豪。タックルでテイクダウンを奪ったが、膝十字固めを決められて1ラウンドで敗れた。

名久井さんは「結果は悔しいが、レスリングで鍛えた自分のタックルは十分通用すると実感した」と自己分析し、「会場に入った瞬間は緊張よりも楽しみが勝った」と振り返った。

今春に高校を卒業し、航空自衛隊に進む。「総合格闘技は1本を取った時のうれしさが魅力。自衛隊でもトレーニングし、競技も続けていきたい」と語った。

(松原一茂)